



問 西鉄大牟田線踏切拡幅工事、安全対策について町が積極的に取り組むべき事業だと思いが

答 西鉄の回答をふまえ警察署との協議を重ねていく



大溝8号踏切

問 西鉄天神大牟田線大溝8号踏切については、国道442号バイパスの開通と併せて下の生活道路も拡幅開通され

るのが普通ではないか、その取り組みについて伺う。

町長

議員ご指摘のとおり、

国道442号バイパス開通と同時に側道も整備され同

時に通行できるようにするのが一番よい姿だと思う。

今日まで、改良できていない理由は何かあり、一つは、国道442号バイパス本線の開通を第一義として捉え業務を実施した関係で、側道整備にかかる業務が滞った部分もあったのではないかと考えている。

しかし、一番大きな理由は、西日本鉄道株式会社との「踏切協議」が整わないことである。西日本鉄道株式会社の考えは、「大量公共交通機関としてお客様を安全に運ぶのが使命であり、安全対策のため新規の踏切及び既存踏切の拡幅は困難である。ただし、

既存踏切の統廃合による拡幅なら協議可能である」との回答である。

今後、大溝8号踏切の改良整備には、既存踏切の統廃合が必要となるので、関係する地元の方々と速やかに協議に入りたいと考えている。

問 9号踏切交差点の安全対策について

どのように考えているか、計画について伺う。

建設課長

この踏切交差点

の状況は、議員ご指摘のとおり、西側から車輛が進入した場合には、線路のフェンス等で側道を通る車輛の確認ができにくい状況であることと、西鉄側道を車輛が通過している場合に線路内で一旦停止をしなければならぬ状況も考えられる。

また、以前、地元より側道の一旦停止要望が町に提出され、大川警察署と協議した結果、一旦停止の設置はされず、その後、30kmの制限速度規制がなされている。

ご指摘のように、西鉄側道

側に一旦停止を設置することで安全対策が図られると考える。しかし、一旦停止を設置するのは、町ではなく、踏切等の通過交通量等により大川警察署が設置することとなっている。

今後、9号踏切交差点の安全対策のために、再度大川警察署に一旦停止が設置できるように要望書を提出したいと考えている。



9号踏切交差点